

書いて描いて歌って脳へ（自分でできる演劇の場）

毎日過す時間の中で、歌、だから好きな色を使っていることを描くとか

脳へに伝わります。歌詞もだから、口から伝わるまで、楽しんで書きで一人でも

できると思います。

家にあるもの、好きな画材・色で、自由に楽しんでください。

出来上がりを見て、笑ってしまっても平気な絵を描いてみてください。

どんな色を使おうか、どんな風になろうか、考えてみてください。

描きながら、楽しんでください。

歌、だから歌詞を添えて、色を添えて

口から伝わるように、思い、心を添えて

脳へ、認知症予防の役にたつと思います。

出来上がりも、自分の世界に、自分の歌集としても

お使いいただけます。

楽しんで、時間のお供に是非活用ください。



アベリ・パステル画・笑ひヨガ 井出さゆみ

田舎に帰る

丘を越えて 行ハハヤ

真澄(まみ)の空は

朗らかに晴れて

楽しーじ

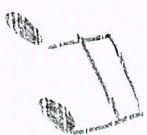
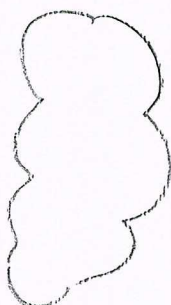
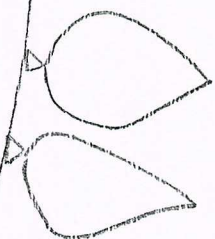
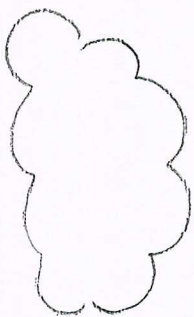
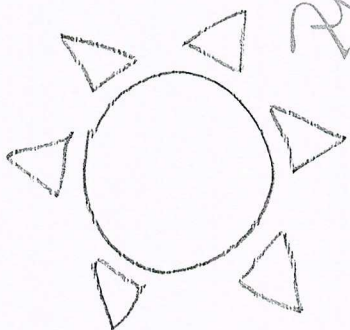
鳴るは 胸の血潮よ

たたえよ

木が青春(はる)を

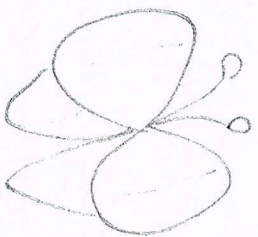
いざ行け 遠か希望の

丘を越えて

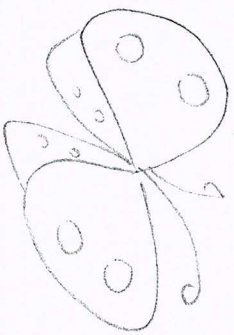


春が来た

春が来た



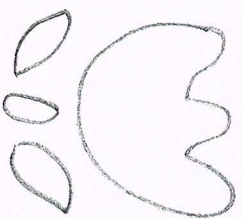
どこに来了



山に来了

野にも来了

花がさく



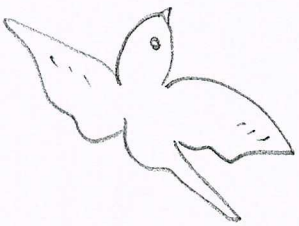
どこにさく



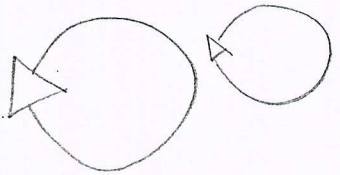
山にさく

野にもさく

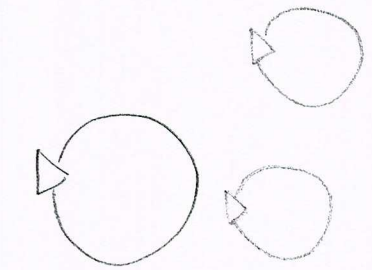
鳥が鳴く



どこで鳴く



里でも鳴く



早春

1. 春は名のみの風の寒さや
谷のうぐいす 歌は思えど

時にあらずと 声も立てず
時にあらずと 声も立てず

2. とけ去りあしはつのぐむ。

さては時ぞと 思ふあやにく

今日もきのうも 雪の空

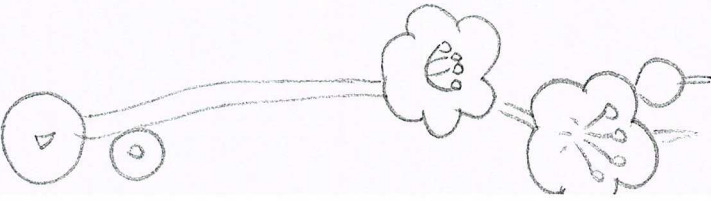
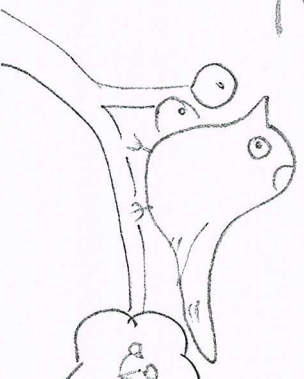
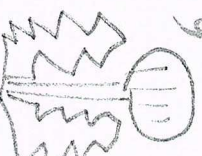
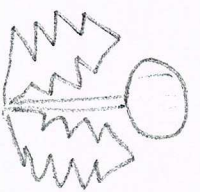
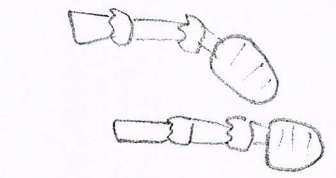
今日もきのうも 雪の空

3. 春と聞かねば知らでありしを

聞けば急がる 胸の思いを

いかにせよとの この頃か

いかにせよとの この頃か



じゃじゃん

じゃばん玉とんだ

屋根までとんだ
屋根までとんだ

こわれて消えた

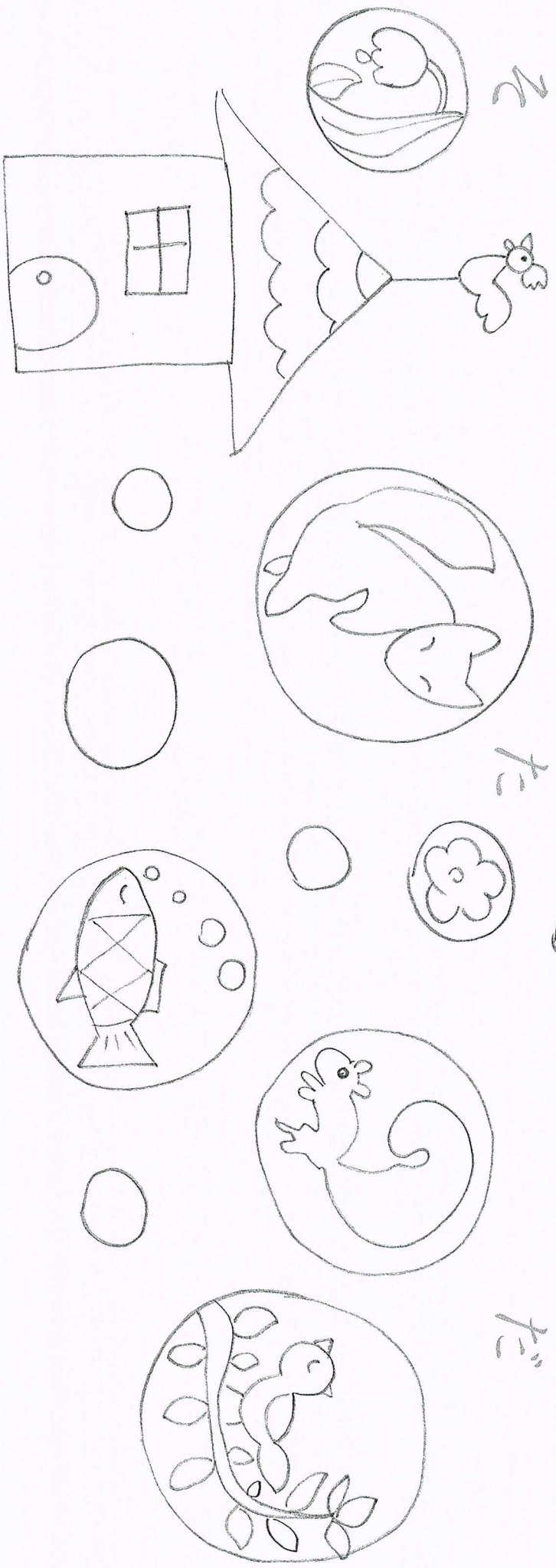
じゃばん玉きえた

飛ばずに消えた
うまれてすぐに

こわれて消えた

かぜかぜふくな

じゃばん玉とばそ



兔追いし

小鮒釣りし

夢は今も

忘れがたき

如何に在ます

恙なしや

雨に風に

思ひ出ずる

志をはたして

いつの日にか

山は青き

水は清き

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

故郷

